

# 2022年3月期第2四半期決算についてのご説明

---

株式会社 東京エネシス

代表取締役社長 熊谷 努

2021年11月2日

# 連結経営成績（2022年3月期 第2四半期）

## 【売上高・利益】

単位：百万円

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減額
売上高	25,750	28,281	+ 2,530
売上総利益	3,572	2,706	▲ 866
売上総利益率	13.9%	9.6%	
営業利益	1,590	185	▲ 1,405
経常利益	1,629	224	▲ 1,405
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,098	76	▲ 1,022

※当期首より、収益認識に関する会計基準等を適用。前期と会計基準が異なるため、増減額を記載。  
 ※上記会計基準適用（原価回収基準）分として、売上高に26億3百万円、営業利益、経常利益にそれぞれ▲1千4百万円含む。

1株当たり四半期純利益：2円24銭（増減額▲29円98銭）

# 連結財政状態

## 【貸借対照表】

単位：百万円

資産の部	2021年3月末	2022年3月期 第2四半期	増減額
流動資産	58,464	57,222	▲ 1,241
固定資産	31,151	37,387	+ 6,236
有形固定資産	20,336	22,582	+ 2,245
無形固定資産	801	2,895	+ 2,094
投資その他の資産	10,013	11,909	+ 1,895
資産合計	89,616	94,610	+ 4,994
負債・純資産の部	2021年3月末	2022年3月期 第2四半期	増減額
流動負債	16,487	21,751	+ 5,264
固定負債	8,269	8,272	+ 3
負債合計	24,756	30,024	+ 5,267
株主資本合計	62,773	62,329	▲ 444
純資産合計	64,859	64,585	▲ 273
負債・純資産合計	89,616	94,610	+ 4,994

※当期首より、収益認識に関する会計基準等を適用。前期と会計基準が異なるため、増減額を記載。

## 【自己資本比率】

	2021年3月末	2022年3月期 第2四半期	増減
自己資本比率	72.4%	68.4%	▲4%

## 【のれん】

- のれん 2,210百万円（2021年9月30日時点では2,100百万円）
- のれん償却費：110百万円（2021年9月30日時点）
- 償却期間：5年

※第2四半期決算時において取得原価の配分（PPA）が完了していないため、暫定的に算定

# 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	13.50	—	15.00	28.50
2022年3月期	—	15.00			
2022年3月期（予想）			—	15.00	30.00

# 連結業績予想（2022年3月期）

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
77,000	4,900	5,000	3,400	99.40
百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭

## 2021年度中期経営計画 最重点課題

「基盤事業の強靱化と新事業領域の更なる拡大による企業価値の向上」

### 〔重点目標〕

- I. 設備工事を主体とした基盤事業の強靱化
- II. 新事業領域の更なる拡大と収益力向上
- III. 新たな環境価値創造へ寄与する技術力・競争力強化
- IV. グループ組織力の最大化
- V. 「キュードの価値観」を基盤とした企業風土の再構築
- VI. 福島復興への継続的貢献

# 今中間期における経営成績の概況②

## 【売上高・利益】

単位：百万円

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減額
売上高	25,750	28,281	+ 2,530
営業利益	1,590	185	▲ 1,405
経常利益	1,629	224	▲ 1,405
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,098	76	▲ 1,022

※当期首より、収益認識に関する会計基準等を適用。前期と会計基準が異なるため、増減額を記載。  
※上記会計基準適用（原価回収基準）分として、売上高に26億3百万円、営業利益、経常利益にそれぞれ▲1千4百万円含む。

### 【売上】

- 火力発電設備保守工事の端境期等による減少
- 前期コージェネレーション売上の反動減
- 日立プラントコンストラクション様からの承継工事を含めた火力発電建設工事の進捗

### 【利益】

- 原価率の高い工事の売上計上が先行
- 再生可能エネルギー分野への参入費用、事業承継に伴う「のれん」や海外の生産拠点であるタイ工場の償却費の計上等、将来の成長へ向けた先行投資による費用の増加
- コロナ禍で抑制していた営業等の諸活動の積極的な推進による費用の増加



# 今中間期における経営成績の概況③

## 【受注高・手持工事高】

単位：百万円

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減額（比率）
受注高	26,871	49,812	+ 22,940（+85.4%）
手持工事高	66,859	105,377	+ 38,517

※当期首より、収益認識に関する会計基準等を適用。前期と会計基準が異なるため、手持工事高は増減額のみ記載。

### ➤ 電力関連

福島第一原子力発電所廃止措置関連業務、火力発電設備建設工事

### ➤ 一般産業関連

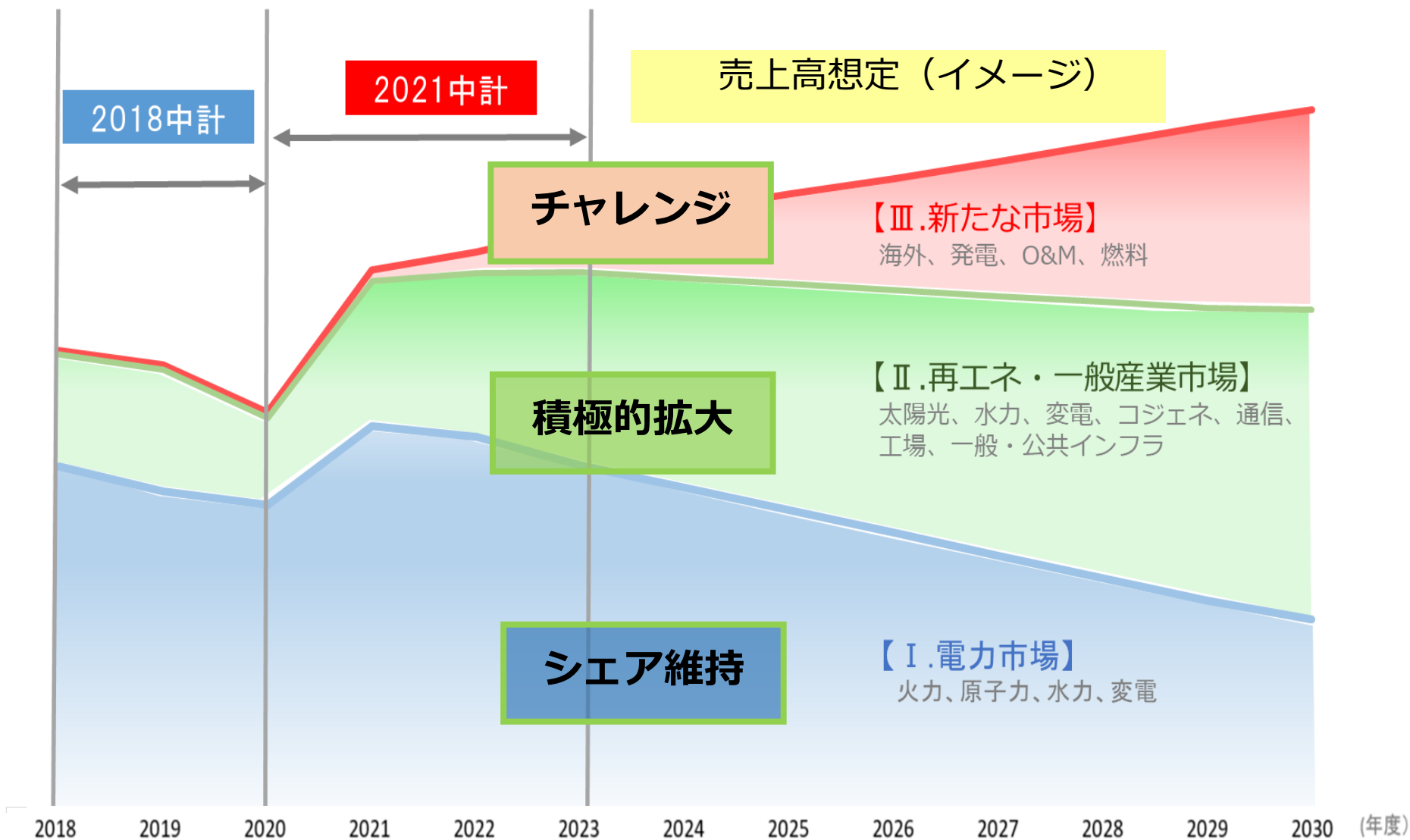
製鉄所向け大型発電設備更新工事、化学工場向けガスタービン発電設備工事  
医薬品工場向けコージェネレーション設置工事

### ➤ 日立プラントコンストラクション様からの事業承継

により受注高・手持工事高が増加

受注高・手持工事高は、いずれも中間期において過去最高

# 再エネへの取り組み①

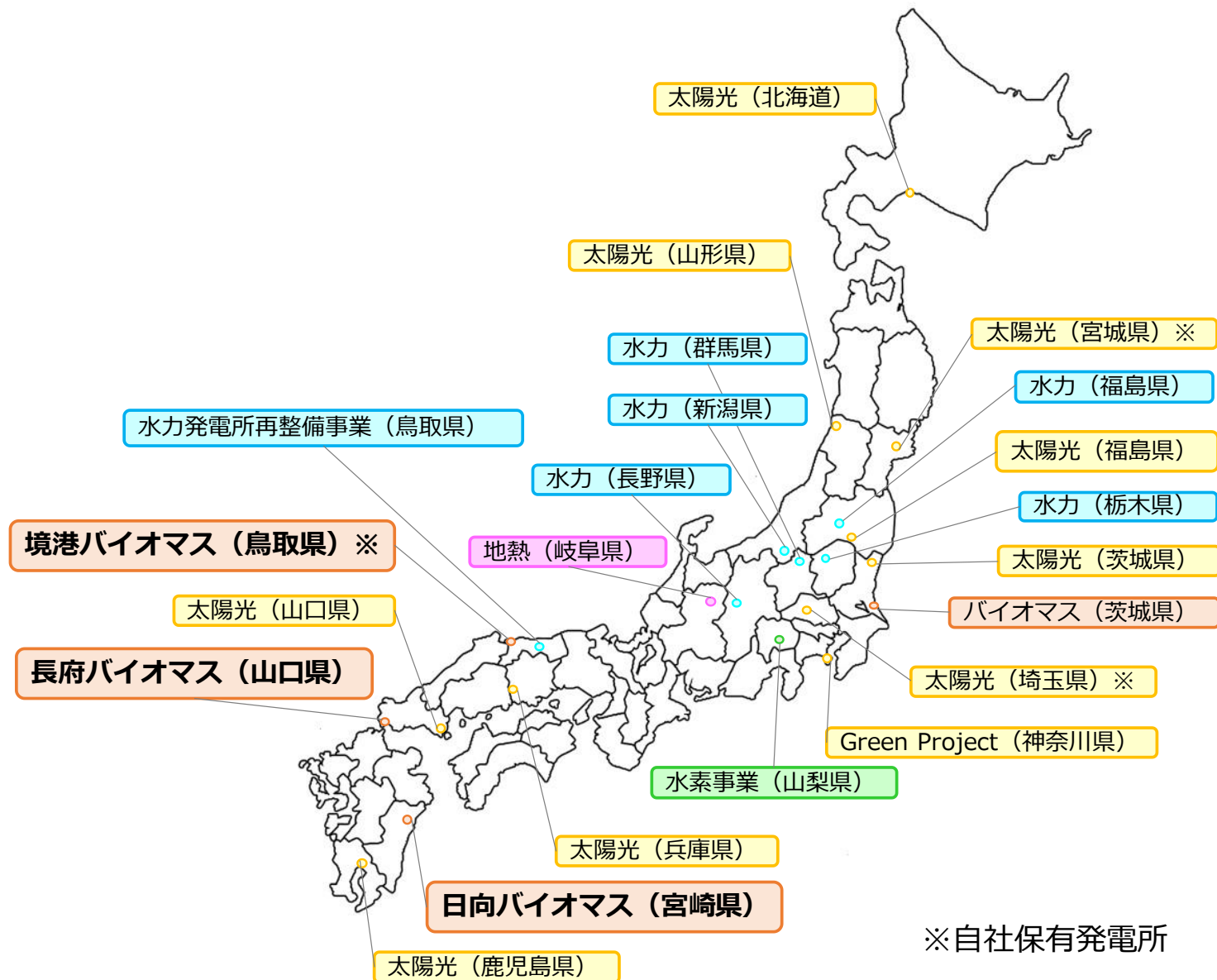


## 再エネへの取り組み②



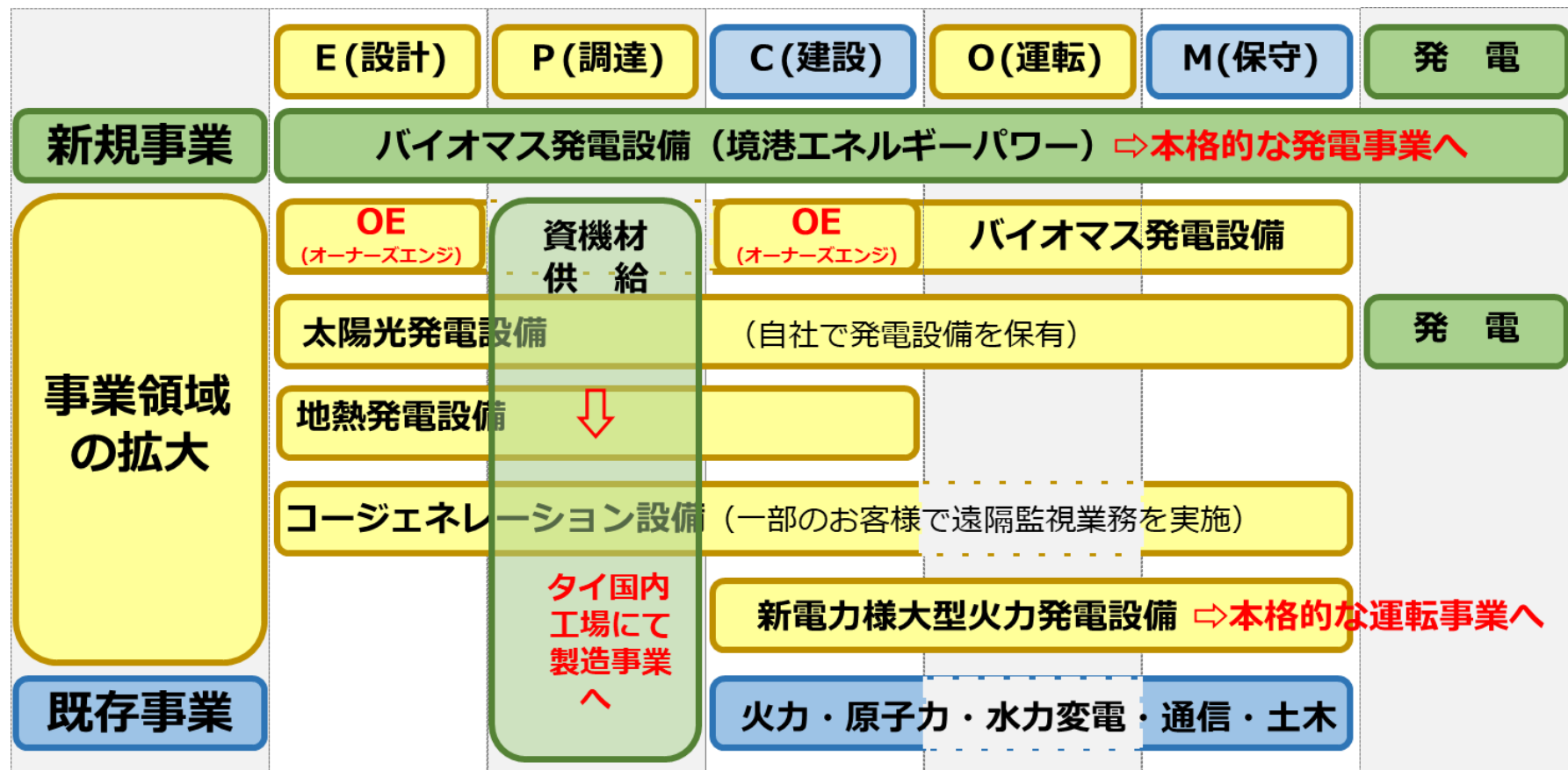
境港バイオマス発電所（施工中）

# 再エネへの取り組み③ 各地の展開



※自社保有発電所

# 再エネへの取り組み④ EPC・O&M・OE事業



# 再エネへの取り組み⑤ 様々な取り組み



境港バイオマス発電所



鳥取県営水力発電所再整備事業

## 再エネへの取り組み⑥ 様々な取り組み



太陽光発電に組み合わせる大型蓄電池



水素事業P2Gシステム利用設備

## 免責事項：

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、本資料は、投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。